



お客様と従業員の安全と安心を守る為に

安全委員会 副委員長

ノアインドアステージ株式会社 平沢 隼人

先日、ご入会のお客様から「火災、地震時の非常口はどこにありますか?」とご質問をいただきました。その時対応させていただいたスタッフは「非常口はこちらで、地震や火災の時はスタッフがご案内をさせていただきますので、落ち着いて行動をとっていただけるよう、ご協力をお願いします。私達も3ヶ月に1回、スタッフが集まってAEDの講習会や避難経路の確認とともに、避難時の訓練も行っております。」とお客様に答えていました。なぜ急にこのようなことが心配になったか、そのお客様は「年始から地震や火災の報道を見ていて、不安になっちゃったのよね。」とお話をされていました。

この時は経験のあるスタッフが対応させていただいたからこそ、お客様の不安を解消できるような答え方が出来たのだと思います。もし、今回のようにお答えができなかった場合は、スクールやそのスタッフに対して、お客様が不安や心配な気持ちを抱いてしまうかもしれません。改めて私たちがお客様の安全と安心を担っているという事を考えさせられる出来事でもありました。

4月は新入社員や転勤など新たな従業員が配属される

時期になります。皆様は社員だけでなく、アルバイトの方々など新しい従業員に対してどこまで伝えていきますでしょうか。ここ最近を振り返ってみると、業務について伝える事や覚えてもらうことが多く、どうしても安全管理については後回しになっていました。お客様の安全だけでなく、従業員の安全を守る立場として反省しかありません。全体での訓練に参加していただくまでに『避難手順の確認・非常口の確認』。少なくともこの2つは初日に伝えていきます。

今回、お客様からこのような質問をいただかなければ、伝えなければいけない事の優先順位が、無意識に変わってしまっている事に気が付くことが出来ませんでした。緊急時の対応などはいつ起こるか分からないことだからこそ、その優先順位が変わらぬような仕組みづくりも大切かと考えます。

お客様、従業員も含めて施設をご利用いただく方々の安全と安心の為に、定期的な訓練と共に、早い段階での避難手順・非常口の確認が出来ているか、皆さまもこの機会にご確認いただければいかがでしょうか。

～気をつけましょうこの季節～

気温も上がり、いよいよテニスシーズンの到来です。

季節も気温も移り変わる春。新入会員様そして新入スタッフも増える春です。

「これまで」や「知っているはず」をリセットして、安全管理体制を見直しましょう。

～スタッフ～

1. 新人スタッフが増える時期です。漏れのない初期研修を実施しましょう。

肉離れや捻挫などのけがへの応急処置(RICE)、またCPR(心肺蘇生)の研修を行いましょう。

加入している保険の適用範囲なども正しく知っておくことで、的確なご案内が出来るようにしておきましょう。



コーチ、フロント共に同様の対応が出来ることが重要です。

2. 異動により新たな事業所に配属されるスタッフもいると思います。

事業所与件による安全管理ルールの違いなども把握しておく必要があります。

避難誘導についても確認しましょう。

この時期は事業所毎に全スタッフにあらためて研修することをお勧めします。

3. 体調管理を徹底しましょう。

インフルエンザ、コロナ等への対応は継続しましょう。



手指消毒やうがい、手洗いは年間を通じ習慣化しましょう。

体調に異変を感じたら速やかに検温し、発熱の場合は出勤を控えるなど、無理のない対応が重要です。同時に同居家族の体調変化も共有しておくが良いと思います。



～レッスン～

1. 本気の体操を

新入会員は体操も初めてです。

どの部位にどう効いているか、何を意識して動かすかなど、コーチが分かりやすく説明しながら体操をしましょう。

また、既存会員の場合、何となくの「動作」だけになってしまっているかもしれません。

あらためて体操の効果、重要性について説明しましょう。

そのためにも、コーチ自ら「本気の体操」を実践しましょう。

複数コートで実施の場合、体操役のコーチだけが体操し、他のコーチが体操していなければ会員にも体操の重要性は伝わりません。

準備等、特別な業務がなければコーチ全員で体操をしましょう。

2. 水分補給

レッスン中の水分補給は「個々に」ではなく、ドリル

の間に全体に案内し時間を取りましょう。

寒暖差が大きな季節です。思いの外、汗を大量にかいている日もあると思います。

適正な水分補給を促しましょう。



3. ストレッチ

会員層の高齢化もあり、近年、下肢の怪我が増えています。

特にふくらはぎの肉離れは増加傾向です。

レッスン終盤では疲労も蓄積し、怪が増えます。

待機から自分の順番に入る前に、コーチからストレッチを指示しましょう。



CHECK !

1. 災害時の緊急避難路や避難場所を確認しましょう。
2. 消化器や消火栓の設置場所を確認しましょう。
3. AEDの設置場所を確認しましょう。またバッテリー・パッドの使用期限も確認しましょう。
4. 救急箱の中身を確認し、足りないものは補充しましょう。
5. 最寄りの病院リストを再確認しましょう。

